

第44回 断層映像研究会 抄録集

大会長：櫛橋 民生（昭和大学横浜市北部病院 放射線科）

会 期：平成 27 年 10 月 23 日（金）・24 日（土）

会 場：秋葉原コンベンションホール

～多種多様な画像所見から究める common disease～

1 日目

平成 27 年

10月23日(金)

頭部・頭頸部

頭部

髄膜腫の非典型的亜型と 髄膜腫類似病変

國松 聡

東京大学 医学系研究科 放射線医学講座

髄膜腫は原発性脳腫瘍の 26% を占め、このうち髄膜皮性髄膜腫、線維性髄膜腫、および両者の中間型である移行性髄膜腫とで髄膜腫全体の 7 割以上を占める。残る組織亜型は頻度が低く、また、非典型的画像所見を示すこともあり、診断は必ずしも容易ではない。逆に、髄膜腫以外の疾患が典型的髄膜腫と見紛う所見を示すこともある。本講演では、日常臨床でたまに遭遇することのある「変な」髄膜腫に関する知識の整理を目標とする。

頭頸部

頭頸部

尾尻 博也

東京慈恵会医科大学 放射線医学講座

頭頸部領域において“多彩な画像所見を呈する common disease”として副鼻腔炎および聴神経腫瘍を取り上げる。副鼻腔炎は頭頸部画像診断の臨床で最も頻度高く接するが、急性・慢性副鼻腔炎・好酸球性副鼻腔炎、真菌性副鼻腔炎など、多くの病態・病型を含む。また、聴神経腫瘍は実際に診断するよりも否定を目的とした MRI 検査に接する機会が多い。実際に臨床的重要性の高い画像評価項目に対する理解が重要である。

胸部

肺

肺

坂井 修二
東京女子医科大学 画像診断学・核医学

肺の日常診療で出会う common disease は腫瘍、感染、炎症のどれをとっても幅広く多彩である。また背景の肺の状態で所見は修飾され、同じ疾患であるのにまるで別の疾患のような所見を呈すこともよく経験されることである。今回は、日常診療でまず熟知しなければならない疾患に関して、所見に修飾を与える因子も意識しながら、なるべく多くの症例を用い解説を行う。

縦隔

縦隔腫瘤性病変の画像診断
～典型像と非典型像～

中園 貴彦
佐賀大学 医学部 放射線部

縦隔腫瘤性病変は様々な疾患を含み、臨床所見、発生部位、画像所見を総合的に評価して診断する必要がある。CTやMRIは縦隔病変の病理像を反映し、診断や治療方針決定に有用である。頻度の高い病変が典型的な画像所見を呈する場合には診断は容易であるが、非典型像を呈する場合には診断に苦慮することも少なくない。本講演では、縦隔腫瘤性病変の画像診断のポイント、典型像および非典型像について概説する。

IVR

IVR

**超音波ガイド下
中心静脈ポート留置術**

藤澤 英文
昭和大学横浜市北部病院 放射線科

中心静脈穿刺はかつて解剖学的構造に基づいて盲目的に穿刺が行われてきたが重篤な合併症が数多く報告され、現在では医療安全の観点から画像ガイド穿刺が推奨されている。

画像ガイド穿刺は透視下穿刺と超音波ガイドの2つがある。鎖骨下静脈(腋窩静脈)穿刺は両方法が選択可能で、内頸静脈穿刺は超音波ガイドで行われる。

CVポートは大腸癌のFOLFOX療法が導入されたことを機会に本邦で急速に普及し始め、現在では多くの施設で一般的な手技として行われるようになった。IVR医以外の術者も多く、研修医でも行う場合があるのが現状であろう。

CVポート留置術は血管穿刺、ガイドワイヤーとカテーテル挿入、皮下ポケット作成、カテーテル及びポートの皮下埋没、皮膚縫合から成る一連の手技で、合併症を起こすことなく完遂させることは勿論のこと術後合併症を避けるための手技工夫が必要になる。

本講演では、安全に静脈穿刺を行うための超音波ガイド下血管穿刺術の基本とCVポート留置術の実際について解説する。

IVR

腎疾患に対するIVR

郷原 英夫
岡山大学病院 放射線部

腎腫瘍に対するIVRには血管性IVRと非血管性IVRとがある。血管性IVRには動脈塞栓術や腎血管性高血圧に対する動脈拡張術が、非血管性IVRには腫瘍に対する生検やアブレーション治療が挙げられる。ここでは非血管性IVRを中心に代表的手技について適応などを概説し、加えて画像診断医に必要な術前画像診断における注意点、術後の画像診断の特徴について述べていく。

2 日目

平成 27 年

10月24日(土)

尿路・女性骨盤

尿路

尿路上皮癌の画像診断

秋田 大字、陣崎 雅弘
慶應義塾大学 医学部 放射線診断科

女性骨盤

女性骨盤

田中 優美子
筑波大学 医学医療系 放射線医学

婦人科領域における common disease としては子宮筋腫や子宮腺筋症といった子宮疾患も挙げられるが、卵巣腫瘍はその種類が極めて多彩であることから、鑑別診断に苦慮することの多い臓器・組織といえよう。

本講演では付属器腫瘍の中でも日常経験することの多い疾患として、卵巣 / 卵管 / 腹膜癌(漿液性癌)、子宮内膜症、卵巣成熟嚢胞性奇形腫、卵巣線維腫を取り上げ、典型例と非典型例、鑑別診断とそのピットフォールについて概説する。

骨軟部

骨病変

多種多様な画像所見を呈する
骨病変

常陸 真

東北大学病院 放射線診断科

骨病変は、腫瘍、非腫瘍性病変を含め、溶骨性変化が主体のものから硬化性病変が主体のものまで、様々な所見を呈する。原発性骨腫瘍は石灰化、骨化を呈するものから様々な溶骨性変化を呈する病変まで、多種多様である。骨病変で最も遭遇する機会の多い転移性骨腫瘍もその一つで、原発巣によっても様々な所見を呈する。比較的頻度の高い骨病変が、単純 X 線写真を基本として、CT や MR でどのような像を呈するかを概説する。

軟部組織病変

多種多様な画像所見を呈する
軟部病変

本谷 啓太

杏林大学 保健学部 診療放射線技術学科

軟部腫瘍の画像診断において、良・悪性の鑑別はしばしば難渋する。さらに、炎症性疾患や嚢胞性病変、外傷などは臨床的にも画像所見上も腫瘍に紛らわしい所見を呈することもある。1つの疾患であっても多様な所見を呈することがあることも診断を困難にさせている。軟部腫瘍の診断は難しい。しかし、1つの所見から正しい診断に到達出来る可能性もある。そのような所見について考えてみたい（毎回見つけられると良いのですが）。

小児・乳房

小児

小児

野坂 俊介

国立成育医療研究センター 放射線診療部

本講演では、小児、特に小児腹部領域における common disease の代表格である急性虫垂炎の画像所見に焦点をあて、典型例、非典型例に加え、鑑別すべき疾患も交えて解説する。急性虫垂炎を疑った場合の画像診断の中心は、超音波検査である。超音波所見と症状や血液検査所見に乖離がある場合など、状況に応じてCTやMRIを行うことになる。診断に苦慮した症例も含め、時間の許す限り、より多くの症例を提示する。

乳房

乳腺良性疾患の画像バリエーションから乳癌を考える

鯨岡 結賀

筑波記念病院 放射線科

乳癌はマンモグラフィ、超音波、MRIといった画像診断後、必要に応じて病理学的検査がなされ最終的に診断される。乳腺疾患においては、細胞診や組織診でも良悪性の鑑別の難しい病変があり、良性疾患の画像のバリエーションを知り、各画像診断においてどのような組織が想定されるか、組織学的所見と整合性があるかを常に考える必要がある。悪性と間違いやすい良性疾患を中心にどこに診断のポイントがあるのか解説する。

腹部

腫瘍性病変

肝腫瘍性病変

小林 聡

金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科
量子医療技術学講座

腹部腫瘍性病変のうち肝臓に生じる病変、すなわち境界病変から肝細胞癌、細胆管癌、肝細胞腺腫、肝血管筋脂肪腫、肝転移などを中心に典型像・非典型像、鑑別を要する疾患・病態について画像の提示を中心に解説を行う。

非腫瘍性病変

肝過形成性結節及び
その類縁病変の MRI 画像診断

原留 弘樹

日本大学 医学部 放射線医学系 画像診断分野

肝細胞性結節は、過形成性病変と異型 / 腫瘍性病変の2つに大別される。主な過形成病変には、正常肝に発生する限局性結節性過形成 (focal nodular hyperplasia: FNH) や結節性再生性過形成があり、肝硬変では大再生過形成結節や FNH variant などがある。これらはいずれも良性病変であるが、多血性の血流変化や増大傾向を示す場合もあり、時として HCC などの悪性腫瘍との鑑別が問題となる場合がある。また、近年、Serum amyloid A 陽性肝細胞性結節と呼称される、肝硬変に生じる炎症性肝腺腫の免疫組織的特徴を示す FNH variant 類縁病変も提唱報告されてきている。本講演では、各過形成性結節の病理像、MRI 所見及び HCC 等の悪性病変との鑑別ポイントなどについて講演する。

RI・心大血管

RI

**心筋血流 SPECT:
その所見は本物ですか?**井上 優介
北里大学 医学部 放射線科学 画像診断学

心筋血流 SPECT は核医学検査の代表の一つであり、虚血性心疾患の診断・病態評価・治療方針決定・予後予測に欠かせない役割を果たしている。対象疾患はほとんどが虚血性心疾患で、所見を正しく判定できれば解釈は比較的容易であるが、多種多様なアーチファクトに阻まれ、所見が有意か否かの判定に窮することがしばしばある。本講演では、心筋血流 SPECT の日常診療に必要なアーチファクトについて紹介する。

心大血管

**大動脈瘤・大動脈解離と
類縁大動脈疾患の画像診断と病理**植田 琢也
誠馨会千葉メディカルセンター 放射線科、
科学技術振興機構 Core Research for Evolutional
Science and Technology (CREST)

大動脈解離は中膜の脆弱性による内膜と外膜の接着性の低下を背景とし、内膜の損傷をきっかけとして真腔と偽腔の二腔形成が生じる疾患を指す。大動脈瘤は大動脈壁一部の全周又は局所が拡張した状態と定義される。一般的には動脈硬化を背景とした真性(動脈硬化性)大動脈瘤を指し大動脈疾患の中で最もポピュラーな疾患であるが、その疾患概念には未だに混乱が見られる。なかでも(真性)大動脈瘤と大動脈解離は、本来全く異なる病態でありながら、あたかも類縁疾患のように語られることも少なくない。一方で、高齢者などで、大動脈瘤と大動脈解離が同居する症例を経験する事もあり、これらが病態の重複であるのか、あるいは偶然の同居であるかは未だに議論の分かれるところである。本講演では、大動脈瘤と大動脈解離の背景にある基本的な病態を明らかにし、病態理解において画像診断の役割について概説する。

Penetrating atherosclerotic ulcer (PAU) は大動脈壁の内膜プラークが潰瘍化し中膜以下にまで達する動脈粥状硬化に起因する進行性病変である。本邦では臨床上認識の薄い病変であるが、その病態と臨床学的側面について掘り下げる。偽腔閉鎖型大動脈解離に生じる ulcer-like projection としばしば混乱され、解離の一重型であると誤記されている文献も散見される。両者の違いについて病理的・臨床的・画像的な区分を明確にしたい。

ダウンロードされた論文は私的利用のみが許諾されています。公衆への再配布については下記をご覧ください。

複写をご希望の方へ

断層映像研究会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。

本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。但し、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター（(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体）と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません（社外頒布目的の複写については、許諾が必要です）。

権利委託先 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX：03-3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

複写以外の許諾（著作物の引用、転載、翻訳等）に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。

直接、断層映像研究会へお問い合わせください

Reprographic Reproduction outside Japan

One of the following procedures is required to copy this work.

1. If you apply for license for copying in a country or region in which JAACC has concluded a bilateral agreement with an RRO (Reproduction Rights Organisation), please apply for the license to the RRO.

Please visit the following URL for the countries and regions in which JAACC has concluded bilateral agreements.

<http://www.jaacc.org/>

2. If you apply for license for copying in a country or region in which JAACC has no bilateral agreement, please apply for the license to JAACC.

For the license for citation, reprint, and/or translation, etc., please contact the right holder directly.

JAACC (Japan Academic Association for Copyright Clearance) is an official member RRO of the IFRRO (International Federation of Reproduction Rights Organisations).

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619